フェスティバル®M水和剤

■種 類 名：ジメトモルフ・マンゼブ水和剤
■有効成分：ジメトモルフ ---------- 12.0%
マンゼブ---------- 50.0%
■PRTR法指定物質：マンゼブ［第１種］ ---------- 50.0%
ヘキサメチレンテトラミン［第１種］ ---------- 2.1%

■登録番号：第19508号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：1997.01.31
■性　　状：淡黄色水和性粉末　45μm以下
■有効年限：３年
■包　　装：500g×20袋

【特長】
- ベと病、疫病に高い効果を示すジメトモルフと汎用性殺菌剤マンゼブとの混合剤。
- 既存薬剤耐性菌に対しても優れた効果を示すので、ローテーション防除の一剤に組み入れると効果的。

【適用内容】(2018 年 10 月末日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ﾘｯﾄﾙ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾒﾄﾓﾙﾌを含む農薬の総使用回数	ﾏﾝｾﾞﾌﾞを含む農薬の総使用回数
トマト	疫病	750～1000	100～300	収穫前日まで	２回以内	散布	３回以内	２回以内
ばれいしょ		500～1000		収穫 14 日前まで	３回以内			10 回以内(無人ヘリ散布は３回以内)
		150	25					
きゅうり	べと病	750～1000	100～300	収穫前日まで				３回以内
すいか	褐色腐敗病	1000		収穫７日前まで				７回以内
たまねぎ	べと病	750～1000						５回以内
	白色疫病	1000						
ねぎ	べと病			収穫 14 日前まで				３回以内
はくさい				収穫 30 日前まで	１回			１回
あずき	茎疫病	500			３回以内			３回以内
だいず	べと病、茎疫病	750	150～300	収穫 45 日前まで				
ぶどう	べと病	750～1000	200～700		２回以内		２回以内	２回以内
みかん	褐色腐敗病	750		収穫 30 日前まで				４回以内

【効果・薬害等の注意】
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 散布液調整後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布すること。
- 本剤は茎葉部からの吸収移行性及びガス化による効果はないので、散布むらのないよう均一に散布すること。
- 本剤は予防効果が主体で治療効果は弱いので散布時期を失することなく処理すること。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液、チオジカルブ剤との混用は避けること。
- ボルドー液との７日以内の近接散布は薬害を生ずるおそれがあるので避けること。
- 極端な高温多湿条件下では軟弱幼苗に薬害のでるおそれがあるので注意すること。
- 連続使用は耐性菌出現のおそれがあるので、なるべく連用を避け、作用性の異なる他の剤と組合せて輪番で使用すること。
- ばれいしょに対して希釈倍数 150 倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 空袋は圃場等に放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- 夏期高温時の使用を避けること。
- 魚毒性等：水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
  使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密封して保管すること。